

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：新屋 千樹

事業名 よこはま いずみ 横浜伊勢原線（和泉地区）		事業区分 街路	事業主体 横浜市
起終点 自：横浜市 泉区 和泉町 至：横浜市 泉区 和泉町		延長 0.54km	
事業概要 本路線は、JR戸塚駅から藤沢市境に至る延長約6kmの主要な幹線道路であり、本地区は市営地下鉄立場駅から相模鉄道いずみ中央駅に向かう延長0.54km、幅員2.2mの4車線道路である。			
H 4年度事業化	S 32年度都市計画決定 (H 8年度変更)	H 5年度用地着手	H 13年度工事着手
全体事業費 約4.9億円		事業進捗率 9.9%	供用済延長 0.0km
計画交通量 30,600台/日			
費用対効果分析結果 B/C : (事業全体) 8.1 (残事業)	総費用 : (残事業)/(事業全体) - / 66億円 (事業費 : - / 66億円 維持管理費 : - / 0.44億円)	総便益 : (残事業)/(事業全体) - / 534億円 (走行時間短縮便益 : - / 465億円 走行費用減少便益 : - / 46億円 交通事故減少便益 : - / 23億円)	基準年 : 平成18年
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=7.6（交通量-10%）			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）			
関係する地方公共団体等の意見 沿線にある泉区役所へのアクセス改善や当地域の東西方面の連絡強化など、交通の利便性の向上、交通の分散化による渋滞の緩和を図る。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 隣接地区の整備により4車線化した部分は渋滞が解消されつつあり、本地区が渋滞箇所となっています。また、環状4号線・下飯田地区の完成及び戸塚駅周辺の開発進展により、本路線の重要性が高まっている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成17年度末までに用地取得進捗率は100%、事業進捗率は9.9%となっている。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 境界確定が難航して用地取得に時間を要しましたが、完了したため工事を進め、平成18年度に本線を供用する予定。			
施設の構造や工法の変更等			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 地域拠点であるJR戸塚駅から藤沢市までを結ぶ放射道路であるとともに、環状4号線へ接続することで外郭道路への交通分散により利便性が向上するため、事業継続する必要があると判断した。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。